

海老名市連絡所等証明書発行体制再編計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果

1 結果概要

○意見募集期間 平成29年12月1日（金）～平成29年12月14日（木）

○意見提出者数 3名 ○提出意見数 6件

2 意見の件数等

番号	提出者	提出されたご意見（要約）	ご意見に対する考え方及び計画への反映
1	杉久保北在住	<p>①連絡所の廃止は、利用実態から合理化はやむを得ないが、図書の返却については配慮してほしい。</p> <p>②自動交付機は、混雑時の待ち時間節約などになるため、残してほしい。また、窓口の呼出・交付・受付などの単純作業は、機械に任せた方が良い。</p> <p>③コンビニ交付の導入は賛成である。ただし、証明書を発行する際、本人確認のためにマイナンバーカードの提出義務付けることは、個人情報の漏えい等の被害報告があるため反対である。</p>	<p>①現在、図書の貸出・返却は、図書館の窓口のほか、宅配サービスを利用できます。また、返却については、海老名駅自由通路・市役所等に設置されている屋外返却ポストで実施しています。今後につきましても、極力市民サービスの低下にならないように検討してまいります。</p> <p>②自動交付機の磁気対応機の代替として、コンビニ交付の導入を進めてまいります。現在、証明発行等の呼出は、発券機を使用しており、今後も必要最低限の人員で業務の効率化を図ってまいります。</p> <p>③コンビニに設置してある交付機を使用し、ご自身で証明書の発行手続きを行うので、マイナンバーカードを店員に提出することはありません。</p>
2	柏ヶ谷在住	<p>①連絡所の廃止は、現状サービスを維持する方策を検討して実施となっている。証明書発行はコンビニ交付で代替できるが、図書の借受は確保できていない。</p>	<p>①1-①と同じ。</p>
3	東柏ヶ谷在住	<p>①連絡所の廃止は反対である。現在、高齢化社会が進行中であり、コンビニ交付の証明発行は、若い人と違って操作ができるか不安である。</p> <p>②マイナンバーカードは、全ての個人情報が一つにまとめられようと計画されており、米国や韓国などで、個人情報の漏えい等の被害報告があるため不安である。</p>	<p>①コンビニ交付による証明書等の発行手続きは、自動交付機やATMなどの発行機と同様に、タッチパネルを使用して、簡単な操作で取得できるシステムとなっております。</p> <p>②マイナンバーカードは、国の管理のもと、制度面とシステム面の両方から個人情報を保護するための厳格な安全対策を講じています。また、その情報は、一元管理せず、分散管理することで、情報漏えいを防いでおります。</p>